



かかやく子ども

～自立と共生の礎を培い、今と未来を豊かで創造的に生きる子どもを育てる学校～

もっとチャレンジ!～かんがえる子ども すんでする子ども 共に生きる子ども～

学習指導要領の改訂と開校3年目を迎えるにあたって…

子どもたちは、はりきって3学期をスタートさせました。

私たちが子どもの成長をより確かなものにできる3か月にしたいと願っています。

いつも述べていることですが、もちろん、学校にも、一人ひとりにも課題がないわけではありません。

それでも、一人残らずすべての子どもが、とてもよく…精一杯に…がんばっています。

※ ※ ※

3学期は、その次の新しい学校経営を構想する時季でもあります。

指導計画の大元である『学習指導要領』が改訂され、新年度はその完全実施にずいぶん近づくと近づく年度となります。

“小学校でも英語科が実施される” “道徳が(特別な)教科になる” “3年生以上で授業時数が増える”などはもうご存じかもしれません。

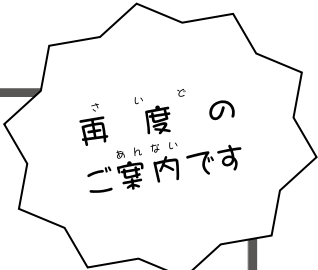
表に出やすい部分が変わるだけでなく、“人生100年時代”ともいわれるこれからの時代に必要な資質や能力として、

『生きて働く知識・技能』
『未知の状況にも対応できる思考力・判断力・

『表現力等』
『学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等』

が示され、
『何を学ぶか』

と同じように、裏面に続く…



国立教育政策研究所 研究指定 いちねんじけんきゅうはっぴょう 一年次研究発表!

平成30年1月26日(金)

13:10~13:40

学校説明会〔学校の取組について〕

13:50~14:35

全学級学習参観

15:10~16:40

講演会

こちらにもぜひぜひご参加ください!

☆保護者、地域のみなさまに聞いていただくことを主眼にした学校説明会や講演会を計画しています。

★講演は滋賀大学大学院 准教授 畑 稔彦 さんのお話です。



『どのように学ぶか』

を大切にしようとしている…
といったことが新しい学習指導要領の大きな特徴になります。

いまや、多くの専門家たちが、「単に覚えるだけ、計算や漢字の読み書きができるだけでは不十分！」と仰るようになってきているのです。

もう一つの大きな特徴は、これまで以上に“家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たしながら、ともに力を合わせ、よりよい学校教育をつくっていこう”“そこから未来の創り手となる子どもをみんなで育てていこう”としている点で、

社会に開かれた教育課程

という言葉がキーワードになっています。



《1月の授業風景から 右上も同じ》

しかも、老上西小学校は、新年度に開校3年目を迎えます。

既に決まっていることもあります…

学校が本来の役割を十分に果たし、教職員が心身ともに健やかな状態で子どもたちに対していけるように学校の業務全般を見直し、教職員の働き方改革を進めていくことは全国的な課題になっています。

草津市教育委員会からのお知らせです。

草津市就学援助費給付制度について

草津市では、小・中学校に在学するお子さんがおられるご家庭で、経済的な理由により就学に必要な経費の負担にお困りの保護者の方に、学用品費の一部や学校給食費等を給付する就学援助費給付制度を実施しています。

受給を希望される場合は、申請書に必要事項を記入し、学校まで提出してください。なお、受給要件に該当しない場合は認定できませんのでご了承ください。

申請書や制度の説明書につきましては、学校または草津市役所学校教育課（6階）でお渡ししますので、お問い合わせください。

それまでの老上で大事にしてきたことを引き継ぎながら、新しい学校づくりへのチャレンジをスタートさせた1年目。



さらに、『もっと チャレンジ！』を合言葉に、“授業づくり・学力向上”“自立と共生・社会にはたらきかける子どもの育成”“コミュニティスクールづくり”に力を入れてきた2年目となった本年度。

そして、三段跳びでなら、“ホップ！ ステップ！！”の後の“ジャンプ！！！”となる3年目です。

“2年の間にやってきたことの上に、何をめざすのか”“どのようなスローガンを立てるのか？”“何を手がかりにしていくのか”…。

現在、少しずつ検討を重ねています。

学校のことや学校のめざすものをもっと知っていただくため、さらに、もっと協働を進めていくために、検討の様子もできるだけお伝えしていきたいと思います。（清水 康行）

これまで夏季休業中に、第6学年児童の希望者で参加していた

『県陸上記録会・水泳記録会』については、会場の都合により、水泳記録会が中止、陸上記録会が会場変更されることを契機に、参加を取り止めます。よろしくご理解ください。

